



テント泊

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- ・野外での宿泊体験をととして自然体験活動への興味関心を高めることができます。
- ・各自が役割を自覚し、創意工夫して共同生活をよりよいものにする態度を養うことができます。
- ・テント設営の基礎的な技術を身につけることができます。

【教科への対応】 小学校：体育など 中学校：保健体育など

2 活動の概要

テント設営及びテント生活について実技をととして学ぶ活動です。児童・生徒が、自然の中で共同生活することは社会性を身につける上で有効であるとともに、自然体験活動への興味関心を高めることにつながります。

- (1) 人数 120人以内
- (2) 対象 小学校5年生～中学生・高校生
- (3) 期間 5月下旬～10月上旬
- (4) 場所 キャンプ場
- (5) 経費 170円／シュラフシート洗濯代1人分
- (6) 指導 実施方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



＜完成したテント＞

3 準備物

団 体	救急薬品、虫よけ
個 人	軍手、懐中電灯、季節や気象状況に応じた服装
自然の家	テント一式、ランタン、シュラフ、ロールマット、シュラフ用シート

4 引率者の役割分担

役割名	内 容
代表責任者	1名。本部に常駐し、活動全体の総括、指揮、連絡にあたる。
用具担当者	1～2名。自然の家から貸し出す用具類の管理を行う。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。



＜ペグを打つ＞



＜シュラフをたたむ＞

5 活動の流れ

	内 容
説 明 準 備	・ テント設営及び撤収、安全管理について説明 ・ テント用具一式の貸出
活 動	【テントの設営】 ・ テントの設営場所を選定し整地する。危険物があれば除去する。 ・ グランドシートを敷く。 ・ ポールをスリーブに通し、テント本体を立ち上げた後、ペグで固定する。 ・ フライシートをかけ、マットとシュラフを敷きランタンをセットする。 【撤収時のテント及びシュラフの乾燥】 ・ シュラフのファスナーを開け裏返し、ロープ等にかけて乾燥させる。 ・ テントから荷物を出して出入り口を開き、内と外を乾燥させる。 【テント及びシュラフの撤収】 ・ すべてのファスナーを閉じてからペグを抜き、フライシートを外す。 ・ テント本体からポールを外し、ポール、フライシート、テント本体をたたんで専用バッグに収納する。 ・ シュラフをたたんで収納する。グランドシートはたたんでおく。 ・ しまい忘れた部品がないか確認する。
活動後	・ 借用物品を返却

6 実施上の留意点

- ・ 実施時期によっては、寒さへの対策をしっかりと行う。
- ・ 荷物を整頓して置くよう指導する。
- ・ キャンプ場はゆるい傾斜地となっているため、寝る際の頭の位置に留意する。

7 安全に実施するためのポイント

- ・ テントはできるだけエリア地図のように整然と設営する。
- ・ ポール着脱時ははねかえりに注意する。
- ・ ペグやポールは散乱させないようにすぐ袋に入れる。またペグを打つ時ハンマーの扱いに注意する。
- ・ テントの中で火は使用しない。

8 エリア図

設営例

